島人ぬ宝　Ver1.1

本調子

1/2

工○工中六工○工○工尺中四○合○

ぼくがうまれた　このしまのうた

中○中尺工○合四七○五五工○合四

をぼくはどれくらいしってるんだろうかが

七○五四工○中○上中工中上○合四

やくほしもながれるくもも

中○中尺工○工四七○五五工○合四

まえをきかれてもわからないで

七○五五工○中○上中上上四○合四

もだれよりもしってい

上○上四中○合○五○工中工○合○

かなしいときもうれしいとき

四○上四上中中○尺○尺四尺○尺工五

もなんどもみあげていたこ

工○七六七工○五○工○五工○○五

のそらをきょうかしょにかいてあ

○工合工合「工七六七○工○工七六七

ることだけじゃわからないたいせつ

○工七六七○六七○工尺中○合七六

なものがきっとここにあるはずな

七工七六七○五七○五七七五工○

それがーしまんちゅぬたから

七工尺中○四上中○工○老○上○陂○

島人ぬ宝　Ｖｅｒｌ．ｌ

本調子

合○工○合四

一、僕が生まれたこの島の空を
僕はどれくらい知ってるんだろう
輝く星も流れる雲も
名前を聞かれてもわからない
でも誰より誰よりも知っている
悲しい時も嬉しい時も
何度も見上げていたこの空を
教科書に書いてある事だけじゃわか
らない
大切な物がきっとここにあるはずさ
それが島人ぬ宝

二、僕が生まれたこの島の海を
僕はどれくらい知ってるんだろう
汚れてくサンゴも減って行く魚も
どうしたらいいのかわからない
でも誰より誰よりも知っている
砂にまみれて波にゆられて
少しづつ変わってゆくこの海を
テレビでは映せないラジオでも流せ
ない
大切な物がきっとここにあるはずさ
それが島人ぬ宝

三、僕が生まれたこの島の唄を
僕はどれくらい知ってるんだろう
トゥバラーマもデンサー節も
言葉の意味さえわからない
でも誰より　誰よりも知っている
祝いの夜も祭りの朝も
何処からか聞こえてくるこの唄を
いつの日かこの島を離れてくその日
まで
大切な物をもっと深く知っていたい
それが島人ぬ宝